

ひがしゆり

HIGASHIYURI

東由利町

2000 10

NO.547



実りの秋・
もうすぐおいしい米を届けます

芸術の秋



9/20
全県野焼きを楽しむ集い
(関連記事、14ページ)



町イメージ
キャラクター
「モウ太くん」

21世紀に向け過疎地域自立促進計画を策定

議会9月定例会

平成十二年度第八回東由利町議会定例会が、九月十一日から二十二日まで十二日間の会期で開かれました。

今定例会では、東由利町過疎地域自立促進計画の策定を含む六議案を原案どおり可決したほか、専決処分一件、一般会計及び六つの特別会計の平成十一年度決算を承認しました。また、陳情四件のうち二件を採択、二件を継続審議とし、請願二件を趣旨採択しました。

九月議会定例会で可決された議案の概要は次のとおりです。

平成十二年度 一般会計補正予算

平成十二年度東由利町一般会計の歳入歳出予算にそれぞれ五九、五八、一、一〇〇千円を追加し、予算総額を四、〇一九、四八八千円としたもの。主な補正予算の内訳は次のとおり。

▼住吉小学校記念碑建立補助金三〇〇千円▼社会福祉法人つるまい福祉会補助金四八四千円▼県単一時保育事業費補助金九〇〇千円▼健康管理プログラム作成委託料一、五〇〇千円▼地域保健推進特別事業三、二四七千円▼シルバー人材センター設立準備事業委託料一、四三二千円▼直

接支払制度にかかる傾斜地調査委託料九、〇〇〇千円▼土木施設災害復旧費四七、六五一千円

平成十二年度 国保特別会計補正予算

平成十二年度東由利町国民健康保険事業勘定特別会計の歳入歳出予算からそれぞれ二、九〇九千円を減額し、予算総額を四二三、九二三千円としたもの。内訳は介護保険制度導入に係る収納対策として介護円滑導入事業費二、一〇〇千円、老人保健医療費拠出金△五、三〇一、一〇〇千円ほか。

固定資産税の課税免除 に関する条例の制定

過疎地域産業の振興を図り、製造事業、ソフトウェア業または旅館業において行う設備投資にかかる固定資産税の課税を免除するため、「東由利町過疎地域自立促進のための固定資産税の課税免除に関する条例」を制定したもの。

町営住宅管理条例の 一部改正

公営住宅法施行令の改正に伴うも

の。

過疎地域 自立促進計画の策定

東由利町過疎地域自立促進計画を定めたもの。

教育委員の任命

小松順之助氏の任期満了に伴い、長谷山博昭氏（上通）を教育委員に任命することに同意を得たもの。



長谷山 博 昭 氏

選挙管理委員の選任

任期満了に伴う選挙管理委員に、嶽石文男氏、大庭喜右衛門氏、小野厚氏が再任され、畠山秀夫氏が新しく選任されました。



町長行政報告の要旨

■出羽幹線工事先送り

秋田県河辺町と山形県八幡町を結ぶ出羽幹線（基幹送電線）全長約九六km。平成十年度から平成十五年度までの当初計画であったが、国の経済情勢や電力需給事情などにより現在未着工。電力容量を五〇万ボルトから二七万五千ボルトに、鉄塔の高さ八〇メートルから六〇メートルに変更し、完成予定年度を十八年に先送り。

■旧住吉小学校体育館、田代福祉館、旧大台冬季分校を解体

旧住吉小学校体育館跡地は運動広場、住吉会館跡地はさら地、旧大台分校は建物一部を残し集会施設に。

■養護老人ホーム「寿荘」移転新築

昭和四十五年に開所した養護老人ホーム寿荘が、水林シルバーエリアに移転新築。七月二十八日着工。入所定員百人、短期入所四人、事業費一、四六一、〇一五万円。

■知的障害者更生施設「水林新生園」建設

現在無認可の本荘通所福祉授産所



が、社会福祉法人「つるまゐ福祉会」を設立し本荘由利シルバーエリアに、知的障害者更生（通所）施設「水林新生園」を建設予定。国、県から補助内示を受け、施設整備費は一八〇、三四三万円。本荘由利一市十町に補助金要請があり、本町に対する要請額は四八四万円、九月議会定例会で補正予算化。

■介護保険の状況

八月末現在の認定状況は、要介護五が二十八件、四が四十三件、三が三十二件、二が四十五件、一が五十二件、要支援が三十二件、非該当が二十四件。特に苦情もなくおおむね順調にサービスが行われている。九月末に更新認定が始まり、また第一号被保険者の介護保険料納付も始まる。

■直接支払制度

二十分の一の急傾斜地から市町村

長特認の百分の一の緩傾斜地にも取り組むとする「町の基本方針」を県へ提出。緩傾斜地の集落協定のとりまとめと調査測量は平成十三年度に及ぶ予定。

■オートキャンプ場

七月十三日にオープンしてから、八月末までの利用は六八組、二八〇人。いこいの森キャンプ場の利用は四六組、一八六人。



▲夏休み利用客で賑わうオートキャンプ場

■国道一〇七号線

国道特殊改良一種工事板戸工区、平成十二年度計画は約四六九百万円。板戸二工区（トンネル一九五メートル）の用地補償と河川付け替え。一号トンネル「黄桜トンネル」（長さ一七八メートル、幅八メートル、高さ四・七メートル）は

九月五日供用開始。二工区完成は平成十四年度の予定。



▲開通したばかりの国道107号線板戸トンネル

■神岡南外東由利線

岩館バイパス工事の全体計画は一、三七〇メートル、平成十五年度完成予定。平成十二年度は約二九四百万円の事業費。横渡側の橋台工事、法内側の盛土工事に着工。

■アクト二期地区農道整備（基盤整備促進事業）

五月三十日に工事延長一〇〇メートルを発注、今年度で完成。

■林業地域総合整備事業

▼仲ノ沢線開設／五月十八日に工事延長四四六メートルを発注、平成十三年度で完成。▼湯出野線開設／五月十

八日に工事延長四九〇メートルを発注、今年度で完成。▼パークゴルフ場（八塩いこいの森）／面積一四、〇〇〇㎡、八月十日に工事発注。

■林道石塚線開設（ふるさと林道特別対策事業）

五月十八日に工事延長四〇三メートルを発注、平成十四年度完成予定。

■林道松ノ沢線舗装（間伐等森林整備促進緊急条件整備事業）

全体計画平成十二年度～平成十四年度、延長二、五一八メートル。今年度は工事延長三二〇メートル。

■宿河川公園事業

▼県事業／平成十年度まで左岸、一部右岸が完成。右岸の残りは十月に発注される。また黒沢川の橋上流部の環境整備が行われる予定。▼町事業／七月十二日トイレ整備工事発注

■災害復旧

平成十二年三月二十八日～四月五日の融雪災害／河川災害十カ所復旧延長一九九メートル、道路災害一カ所復旧延長五四メートル。道路は九月末、河川は十月に復旧工事発注予定。

■水道事業

▼基幹的施設改良事業／住吉地区（笹山、沖田橋）、時雨山・高下屋地区、須郷田の一部、新町の一部、今年度は総延長四、三四三メートルの計画。▼東由利簡易水道／小ボツメキからボツメキ水源本管への導水管新設、約五〇〇メートル、十月工事発注予定。▼大袖簡易水道／八塩～大吹川導水管工事、約二、三二五メートル、十月発注予定。

■農業集落排水事業

八月末の加入率、平成十年度実施分四七・六割、平成十一年度実施分二二・五割、現在工事中の平成十二年度分は九・二割。現在の工事箇所は山崎、久保地区。また平成十三年度～平成十七年度実施予定の蔵法内地区、事業説明会を五月二十九日～六月十六日に実施し、県・東北農政局との協議を進めている。

■新A.L.T.赴任

イギリスから新しい英語指導助手、エミリー・ウォルトンさんが七月二十六日に来町、二学期から中学校で英語指導。

■法内地区テレビ難視聴解消事業

五九世帯の加入、七〇・二四割の加入率、十月上旬の工事発注。

一般質問

質問と町長答弁の要約

小松 賢 議員

▼グリーンツーリズムにどう取り組むのか。

▽「自然、人情味を満足できるところ」を要望する都市住民とのギャップが問題。農村、農業のもつ多面的機能を発揮させ、農業所得の向上に繋がるグリーンツーリズムの導入に側面から支援する。

▼携帯電話不通区の解消を。

▽不通区域二カ所の解消を繰り返し県に要望したが、平成十三年度も不採択。情報化施策の推進や、移動通信エリア拡大を今後とも関係機関に働きかけていく。

▼災害工事認定前に事前工事は出来ないか。

▽放置による被害の拡大が見込まれる箇所については、諸条件のもと必要な事務手続きをすれば国庫支出による応急工事が認められる。国庫支出対象にならない復旧については、現場の判断で対応。

▼介護保険料の徴収についての事前説明は充分か。

▽昨年からの広報やリーフレット、説明会などにより周知を図っている。十月から始まる保険料徴収や介護度

更新認定など、引き続き広報や説明会を実施し、事業の円滑推進に努める。

▼火葬場職員休日の火葬場使用を、より多くの隣接町などの連携を。▽今後の課題とし、関係市町と話し合う。

▼仁賀保矢島館合線並びに羽後向田館合線整備実現の働きかけを。▽両線については機会あるごとに国、県へ要望している。引き続き要望する。

▼入会林野の権利をどう考えているか。また東北電力への売却代金を権利者に還元できないか。

▽当該土地所有権は町に帰属し、入会権は地上権と認識している。東北電力の出羽幹線工事に伴う一連の事務処理については、関係者への説明協議、議会への報告等適正に行った。また、入会地にかかる土地代金や補償費については、土地所有権と地上権に基づき処理したものであり、適正であると考えている。

長沼 久利 議員

▼役場移転建設に伴う空洞化問題を懸念し、まちづくりについて伺う。

▽老方地区を想定しているので、道の駅関連施設と併せ周辺地域への活性化波及効果について、老方地区の方々にも知恵を出し合って欲しい。

▼公共施設の利活用を町おこしと

どう結びつけるのか。

▽施設を利用したソフト事業が重要であり、発想の転換と意識改革が町おこしの原動力につながる。

▼スポーツ活動を通じた少年教育のための指導者確保を。

▽地域住民も学校教育に参加し支援する時代。体育指導委員や体育協会と連携を図りながら、指導者の研修機会を充実させ、指導者の確保に支援する。

▼既存公共施設を活用し放課後児童クラブ等の推進を。

▽保育園における小学校低学年児童の受入事業(保育所地域活動事業)があり、実施を考えたい。社会教育分野においてはスポーツ少年団の育成、わくわくサークルなどの活動を実施。新しい支援策にも取り組むたい。

小野 健 議員

▼図書館建設を。

▽人口五千人規模での専用図書館設置の是非は、財政的な面と利用頻度からも検討が必要。目下の問題は新庁舎に教育委員会事務局を入れるかどうかに関連し、公民館の位置付け、図書館機能の充実、リニューアル整備を検討。

▼在宅介護手当の増額を。

▽要介護者へのサービスを社会全体で支え、現金ではなく現物給付で行

うという介護保険の基本理念を尊重し、町独自の介護手当も半額とした。

▼青刈りなど生産調整について町長の考えを伺う。

▽稲作経営安定のため、米の適正在庫水準達成時期の明確化、稲作の経営安定化など、生産調整の総合対策を望む。

▼周辺事態法について解説案に対する国への意見や質問の内容を伺う。

▽地方公共団体や民間協力の具体的マニュアルとも言える「解説」案については、質問にあるような、意見を求められたとは認識していない。当方からも内容に対する質問も行っていないので回答できない。

中西蔵之助 議員

▼地方分権と市町村合併について伺う。

▽地方分権の理念である国との対等な立場を確保するための具体的な方法として、町村合併推進であると認識している。介護保険、廃棄物処理、環境保全など、直面している行政課題は広域的に対処することがふさわしいものばかり。しかし効率的なメリットばかりではなく、冷静に機が



▲新庁舎建設の検討が進む役場現庁舎

熟す時期が到達するまで、当面のインフラ整備に最善を尽くす。

▼介護保険に
関しゴールド
プランとケア
プランの整合
性について伺
う。

▽ゴールドプ
ランは緊急に

▽県に再調査を依頼し補修を要望する。利用者にも調整を図りながら作業をお願いする。水不足については、河川からのポンプアップを検討。

鈴木 和夫 議員

▼中山間地域等直接支払制度の緩傾斜地への取り組みを。

▽緩傾斜地の取り組みについては、「市町村の基本方針」で特認事項としており、検討委員会で協議し取り組む。調査測量費を補正予算に計上。

▼一般乗合バス横手方面への始発地点を、畑村や智者鶴まで延長設定を要望するべきではないか。

▽乗り継ぎの利便向上を関係団体にお願いしたところ、年度途中の時刻表変更は不可。来年度の検討との回答。始発地移動については、再度要望する。

▼火災時に元消防団員も消火活動に協力できるシステムを。

▽消防法では団員が付近に居る者に協力要請が可能で、公務災害補償の適用もある。しかし危険が伴うため、特殊な場合を除き後方支援の協力を。

▼各種委員や協議会等へより多くの女性登用を。

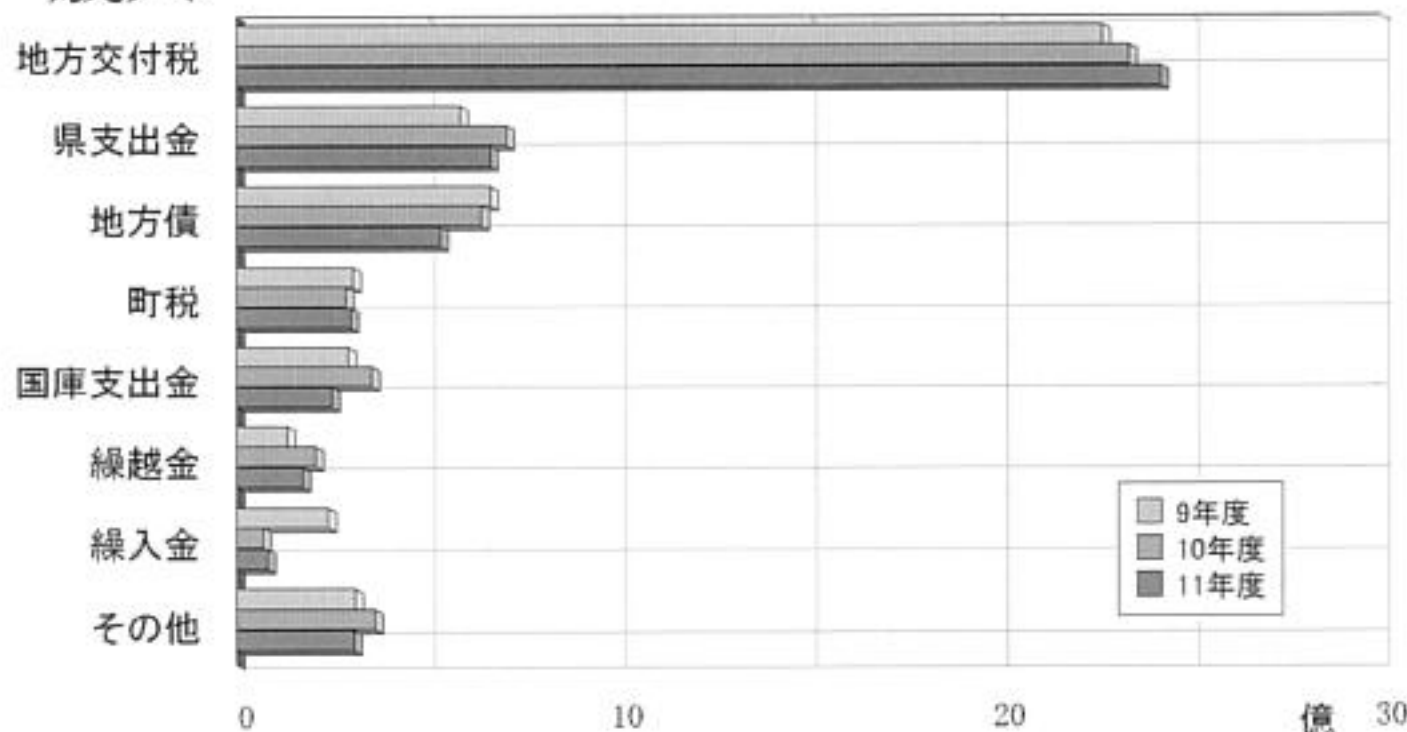
▽時代の要請であり、機会あるときは推薦等の意見をいただきたい。

▼流入障害の多い老方流雪溝の早急な改善を。

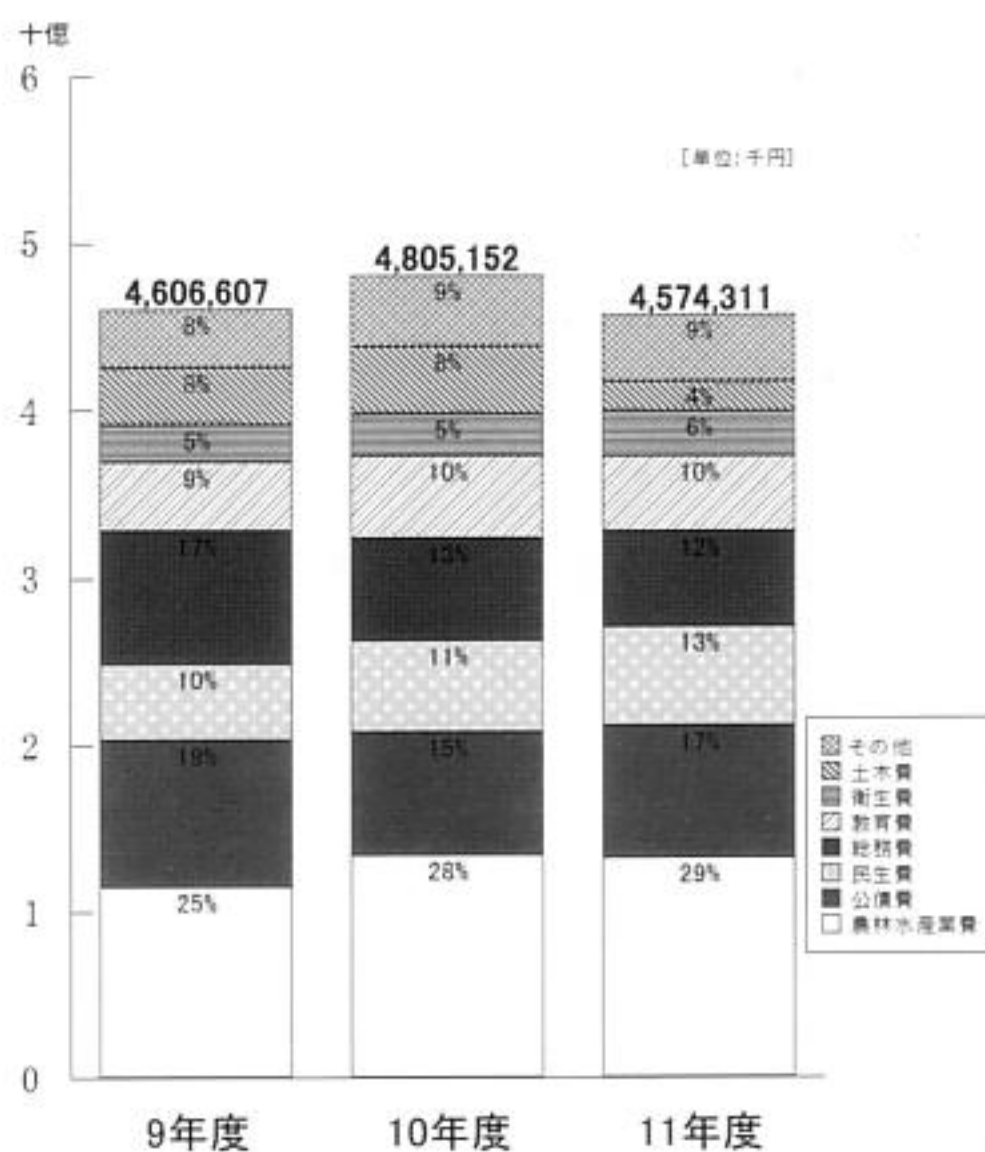
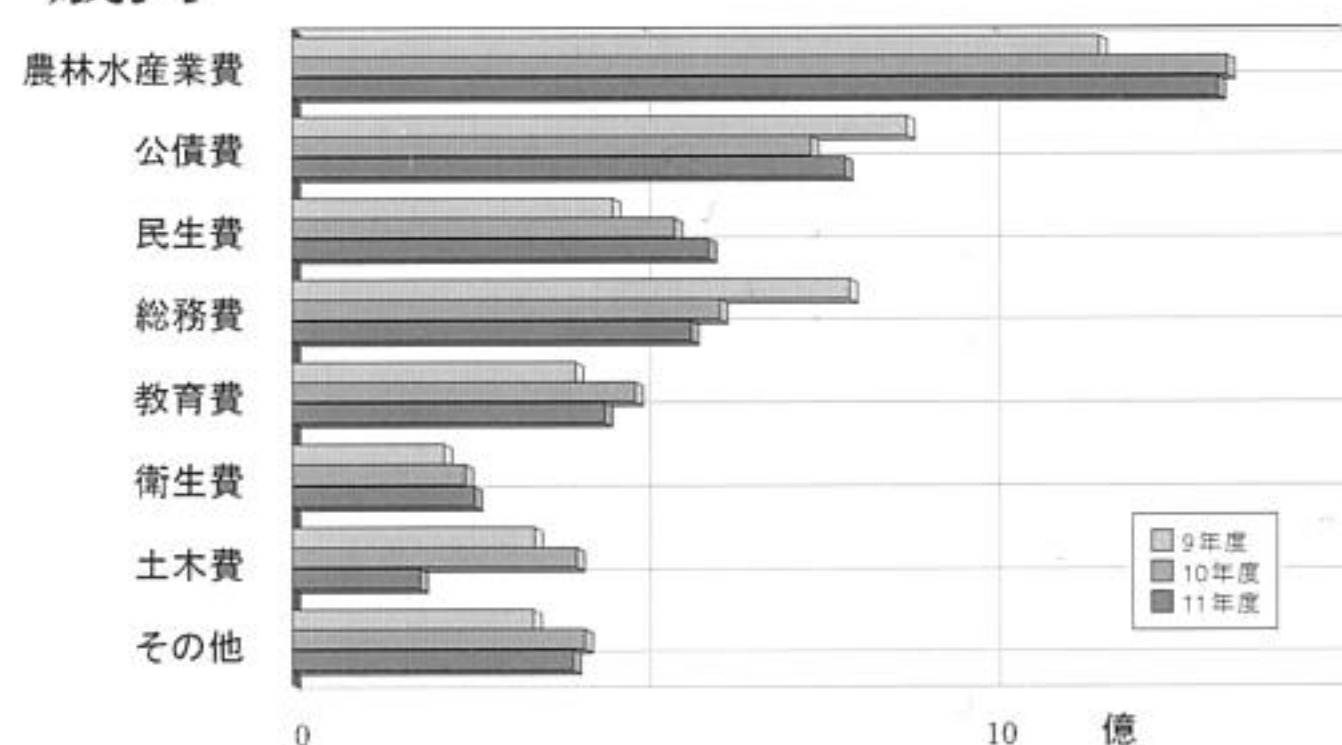
急な改善を。

年度別決算額の推移

歳入



歳出

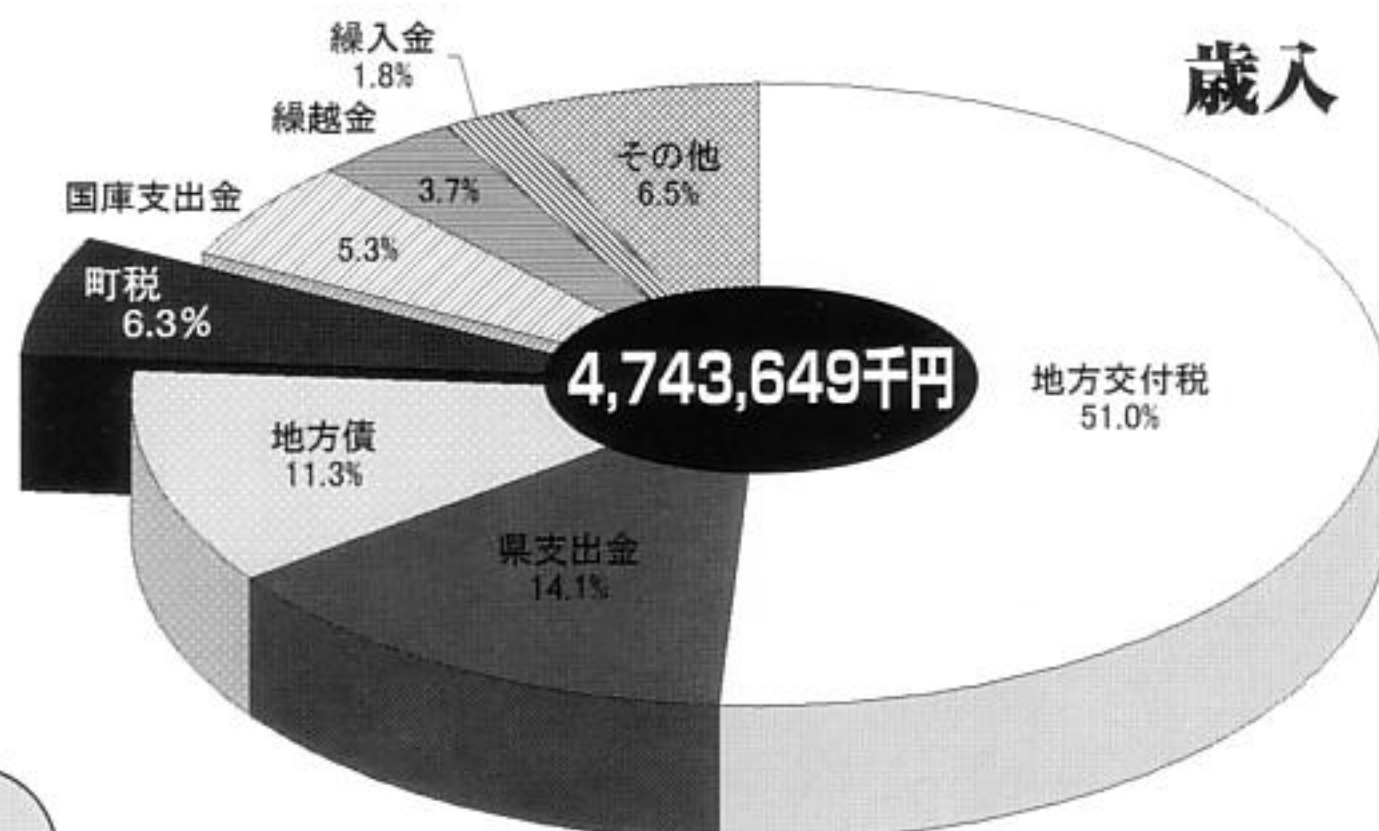


特別会計の内訳

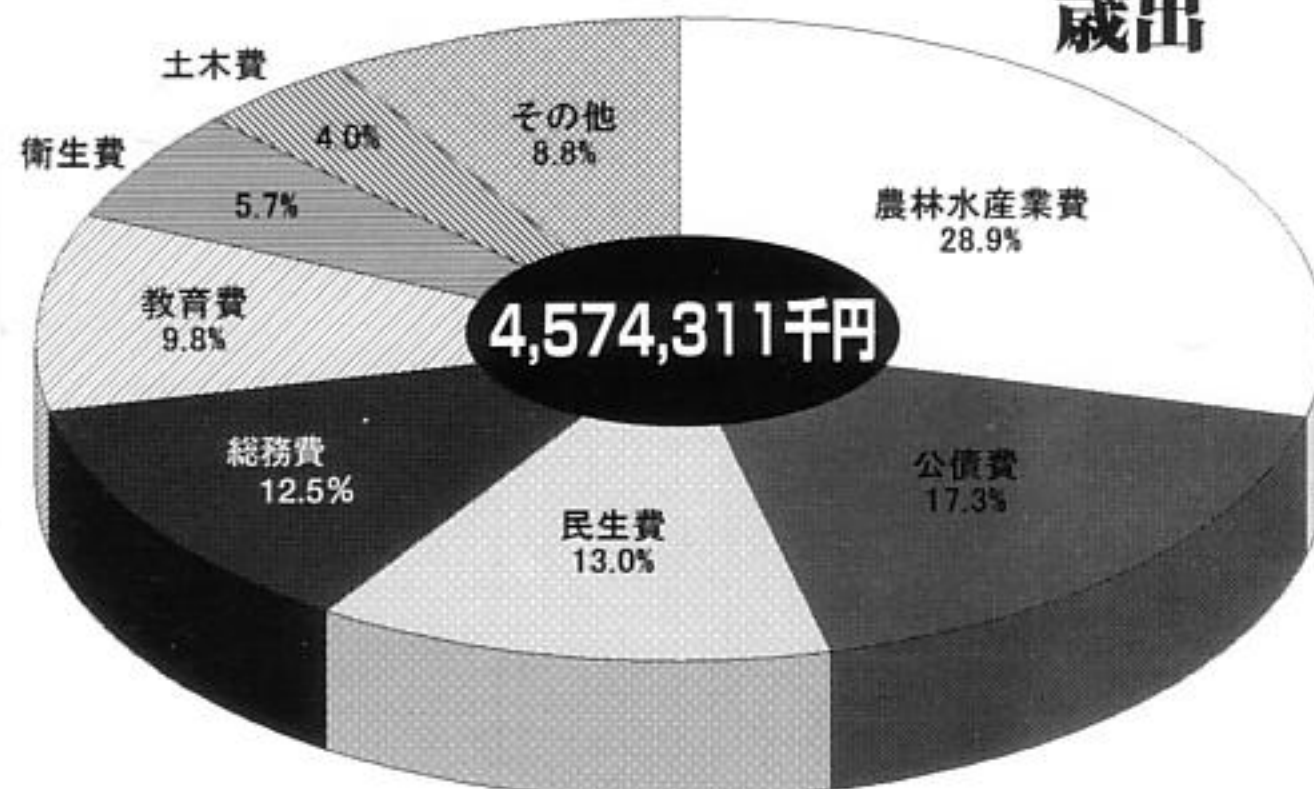
	歳入総額	歳出総額	差引	歳出前年度増減率
国民健康保険事業勘定特別会計	487,879	408,282	79,597	-11.70%
老人保健医療事業特別会計	711,739	711,739	0	11.93%
簡易水道事業特別会計	502,308	493,567	8,741	38.57%
農業集落排水事業特別会計	646,088	646,082	6	-13.20%
特別養護老人ホーム東光苑特別会計	270,409	269,041	1,368	8.22%
大平スキー場運営費特別会計	14,865	14,845	20	-17.31%

平成11年度決算

歳入



歳出



町民1人あたりの支出は892,548円

一般会計決算額は、歳入総額4,743,649千円で、前年に比べ236,661千円（4.8%）の減、歳出総額が4,574,311千円で、230,841千円（4.8%）の減となり、翌年度への繰越財源を除いた実質収支では151,009千円の黒字となった。

地方交付税は、2,420,839千円で前年度より80,154千円（3.4%）増となった。反面、町民プール整備・公営住宅建設等の大型事業が終了したことにより、国・県補助金及び地方債が大幅に減少している。

検討が進む新庁舎の建設基金には、51,262千円積み増しし現在高511,977千円。

歳出では人件費が前年度に比較し4,694千円（0.6%）減少したが、自治体借金の返済となる公債費は48,532千円（6.5%）伸びた。

特別会計では、加入者が減少する国保会計の歳出減と、高齢化を象徴する老人医療会計の歳出増が対照的。簡易水道は現在基幹改良施設の更新が進む。

農業集落排水事業は、老方館合処理区の工事が終盤となり事業費が減少。来年度より新たな処理区（蔵・法内地区）の建設事業が始まる。



平成14年度から高瀬小学校と統合へ

教育委員会教育長 小笠原 諒 治

広報五月号で少子化に揺れる大琴小学校の現状と、地域・保護者の学校統合への要望、そして町教育委員会としての対応を説明しました。このほど教育委員会は、統合の条件となる「地域・保護者の合意」を得ることができたものと判断し、「平成十四年度から大琴小学校を高瀬小学校に統合する」という結論を出しました。

以下、その経緯を説明いたします。

■十三年度案に対して

平成十一年度の各懇談会（PTA、地域ごと）において、「早期に高瀬小との統合を」という要望が強く、教育委員会として協議の結果「十三年度案」を「叩き台」として提示しました。その結果、地域住民からは特に異論は出なかったのですが、保護者側の意見が十三年度案と十四年度案の二つに分かれ、結論が十二年度のPTAへと先送りされました。そのおもな理由は、「十三年度案」子どもは環境に順応するのが早いから心配はない。このまま複式にして



おくのは子どもがかわいそうだ。一年でも早い統合を希望する」「十四年度案」準備期間が短いと親子とも心理的に不安である。学校間交流（児童、保護者）の時間が十分に必要である」などでした。

■PTAとしての結論

平成十二年度に入り、新体制のPTA総会（五月）でこの問題について協議した結果、十四年度統合の結論に達したのでした。その主な理由は、①統合の諸条件を満たすには今後一年間の準備期間が必要である、②十三年度まではスポ少も活

動できる、等でした。

これらの事柄を、要望という形で教育委員会に申し出がありました。その具体的な内容としては、①どの地域にも通学方法の便を図って欲しい、②統合前の両校の交流を図って欲しい、③高瀬小の理解を得たい、等でした。

この要望を受けて、教育委員会で慎重審議の結果、要望通り「条件さえ整えば平成十四年度から高瀬小と統合」という方針を打ち出したのです。

■保護者・地域の意向の確認

これまでの流れを総括するため、教育委員会は各協議会を開催し、統合の方向を確認しました。

- ①七月十二日 大琴小PTAと教育委員会との協議会で、十四年度統合の線を確認しあう。
- ②八月二十九日 高瀬小PTAと教育委員会との協議会で、特に異論なく好意的雰囲気であった。
- ③九月八日 大琴小学校区

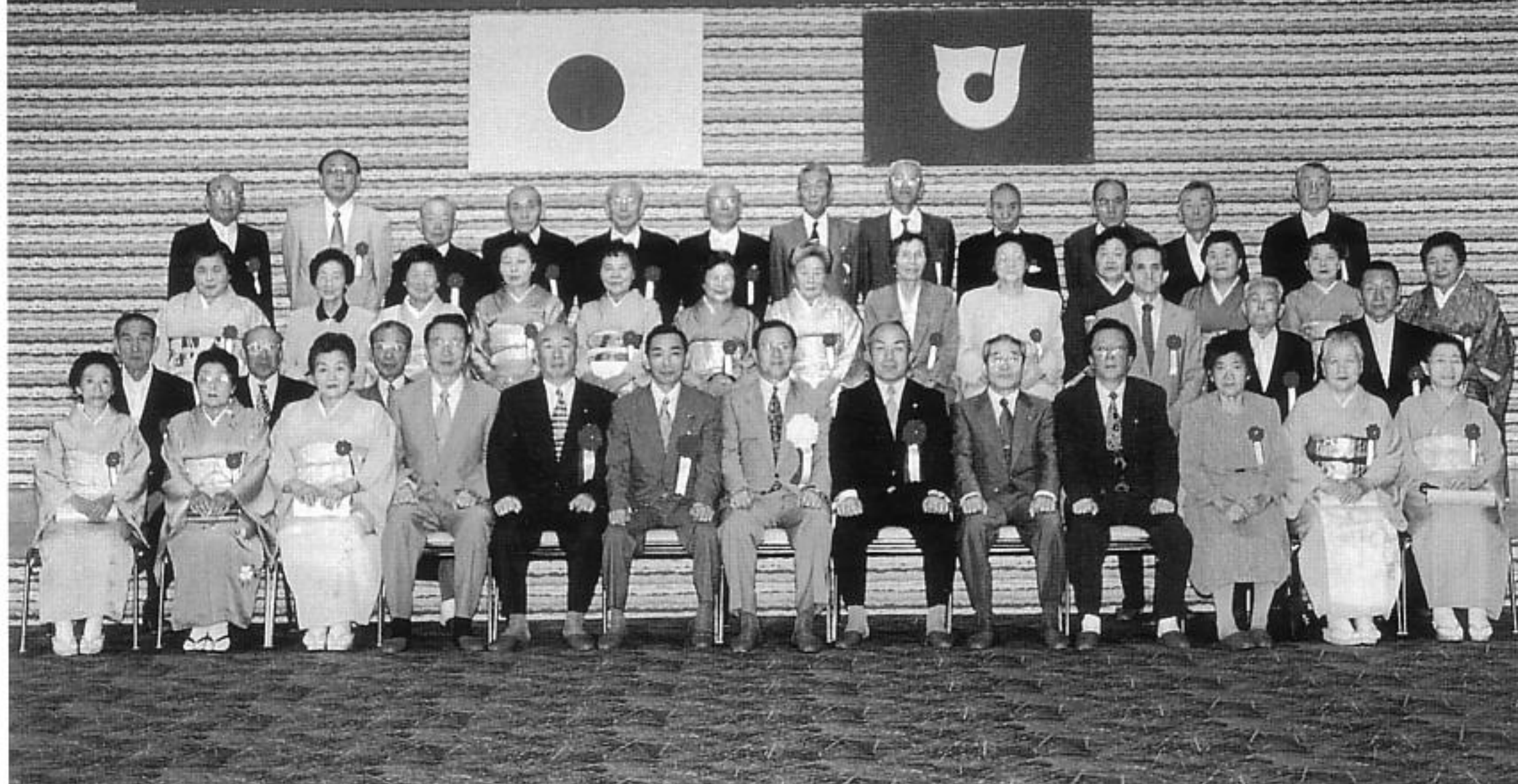
内自治会員と教育委員会との協議会で、十四年度統合の方向を確認しあう。

■まとめと今後の方針

以上の経緯を踏まえ、教育委員会として、平成十四年度統合を打ち出しました。今後の方向としては、統合をスムーズに推進するため、両校の関係者（管理職、PTA三役、教育委員会事務局）による統合推進委員会を組織し、具体的な条件整備や課題解決を図っていく方針です。条件整備の確認ができれば、改めて町長に「両校の統合」を要請する運びとなります。最終的には議会の皆様のご理解が必要です。各方面からのご指導を得ながら、今後とも課題解決に努力して参りたいと考えています。

以上、これまでの経緯と今後の方針について説明しました。これまで寄せられました町民皆様の深いご理解とご支援に対しまして、心から感謝申し上げます。

祝東由利町合同金婚式



▲50年の思いを胸に祝いの会場で記念撮影

平成12年度【合同金婚式】名簿

年齢は平成12年9月1日現在

夫婦の氏名 (年齢)	自治会名
横山徳五郎 (74) タマヨ (71)	黒 渕
八嶋 俊雄 (73) ミ ヨ (70)	黒 渕
小松 定雄 (72) キ ヨ (71)	高戸屋
佐藤 幸悦 (69) 節 子 (67)	時雨山
工藤 春吉 (80) エチノ (75)	下小路
菊地 隆 (72) キクミ (71)	館 西
古関 三郎 (76) 千代子 (71)	松 柴
佐藤眞二郎 (76) ト シ (69)	新 沢
大宮辰太郎 (70) 勝 子 (70)	館合新田
柴田 浩 (70) ミヲ子 (69)	須郷田
佐藤安次郎 (76) サツ子 (70)	下 通
小野 順治 (72) 愛 (70)	湯出野
佐藤千代蔵 (72) 美 代 (69)	湯出野
小野 厚 (70) エ イ (69)	寺 田
畠山東市郎 (72) タ ツ (71)	茂 沢
小松 操 (72) マツヨ (70)	上 里
佐藤 長一 (70) ノリ子 (70)	新 処
阿部 富三 (80) フ ミ (73)	十二ノ前
遠藤三代治 (73) チヨミ (69)	小 倉
石綿 民喜 (74) 洋 子 (69)	大 琴
猪股善五郎 (74) セツ子 (74)	大 琴
阿部 清佐 (76) キエ子 (71)	大 琴
遠藤 寅雄 (74) ケ フ (69)	下 吹

会場では式が始まる前に、一組ずつと全体での記念撮影が行われました。晴れ着に身を包み若々しい笑顔の女性の皆さんと、背広姿で少し緊張した顔の男性の皆さんが、カメラを前に並ぶ

九月十三日、有鄰館において今年結婚五十周年を迎えた夫婦を祝う合同金婚式が行われました。今年の対象は昭和二十五年に結婚した夫婦で、式には二十三組四十六名の案内者のうち、三十七名が出席しました。

なごやかに話がはずんだ祝宴の後は、金婚を迎えてより一層円満で元気に過ごすことを誓い合い、全員による万歳三唱で式を終わりました。

と、不思議と似合い五十年の歴史を思わせました。式ではお祝いの言葉や来賓紹介のあと、永年にわたる夫婦のご労苦と町への貢献に対する意を込めたお祝い状と、記念品の夫婦箸がそれぞれの夫婦に贈られました。

感謝を胸にお祝い状を受け取るご主人、隣で見守る奥様



平成十二年度合同金婚式

夫婦で過ごした半世紀にありがとう

二十世紀最後の年に金婚を迎える

新庁舎建設候補地などを検討

21C町づくり検討委員会

九月七日夕方六時から、有鄰館において21C町づくり検討委員会が行われました。

この「21C町づくり検討委員会」は、新過疎法の制定による新しい計画の検討や二十一世紀に向けた東由利町の今後のあり方などについて、広く町民から意見を聞くことを目的として設置されました。委員の構成は二十歳代前半から七十歳代までの男性二十三名、女性九名。

今回の検討課題は、目前となった役場新庁舎について。新庁舎の建設は、現施設の設定備老朽化によるもので、建設に際しては町内外利用者の利便性や、将来の市町村合併なども視野に入

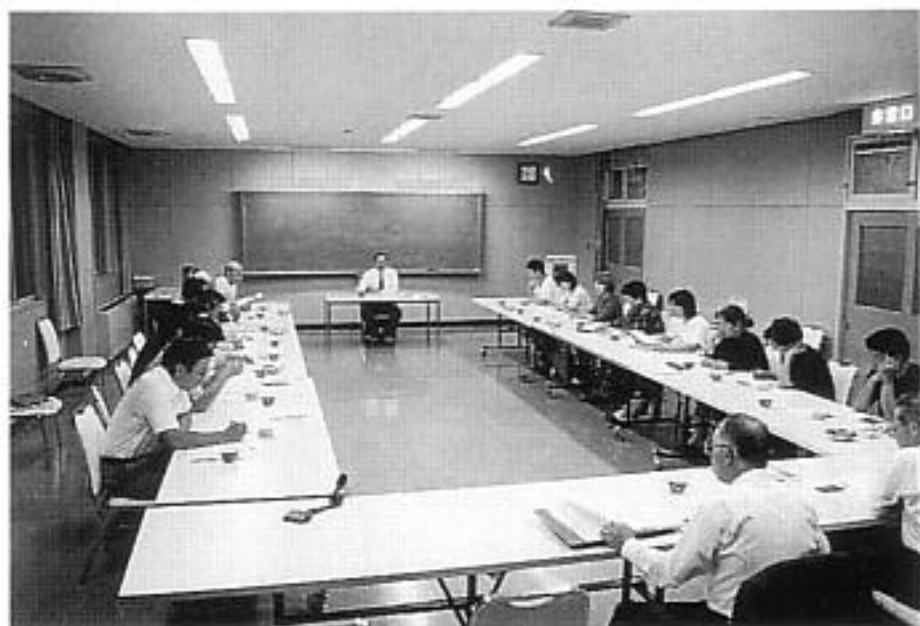
役場新庁舎の検討については、これまで役場内部での検討、自治会からの建設地に関しての陳情、これらを踏まえた議会での協議を経て、現在建設候補地が、道の駅エリア東側道向かいの橋脇地内と、取り壊しが予定されている老方駐在所跡地から北側にかけて一帯地の二カ所に

絞られています。

検討委員会ではこの二カ所についての意見協議が行われました。

出された意見の主なものは、国道から見えること、国道からのアクセスが容易であること、町外の人にもわかりやすいこと、東由利全体の空洞化に配慮することなどで、おおかたの意見では二カ所のうちでは橋脇地区が適地との意見でした。中には二カ所以外で、農協の国道向かいが一番との意見も出されました。

町ではこの後、年内に建設地の最終決定が行われる予定です。



▲利用者の利便性を重視した意見が多かった検討会

みなさんこんにちは エミリー・ウォルトンです

7月26日、東由利町に新しい英語指導助手(ALT)のエミリー・ウォルトン(Emily Wolton)さんがやってきました。

エミリーさんはイギリス・ロンドン生まれの23歳、6月にロンドンの大学を卒業し7月23日に日本に入国、ALTとしての就任は7月24日から。二学期が始まった8月28日から東由利中学校に出勤し、授業で英語を教えています。

今回はエミリーさんにお話を聞いてみました。

町の人の印象は？

The people and students have been very kind and welcoming to me, making me feel very much at home in Higashiyuri. 町の人や生徒達はとても親切に私を歓迎してくれて、東由利町が家族みたいに慣れしんだように感じさせてくれます。

趣味は？

My interests are art, photography, travelling and anthropology. I want to explore Japan and take up a traditional Japanese craft or activity. アートや写真、旅行が好きで、人類学にも興味があります。伝統的な工芸や活動などをとりあげ、日本について学びたいです。



この町にひとこと

Thank you very much for your kindness and warmth.

I will do my best to be a good teacher and member of Higashiyuri town.

親切さと暖かさにとっても感謝します。私は東由利町の良い先生であり一員であるように、ベストをつくします。

町の印象は？

It is very beautiful and tranquil town, but small and very rural. 非常に美しくて静かな町ですけれども、小さくとても田舎風です。

「時と豊かに暮らす秋田」をめざして

知事の市町村懇談会



▲活発な意見交換が行われた懇談会の会場

八月三十一日、有鄰館において、知事の市町村懇談会が開催されました。

この懇談会は、二十一世紀に向け夢と希望のもてる秋田県をめざし、県民から広く意見を聞き県政に反映させる目的で、秋田県が県内市町村を会場に行っているものです。

会議には、町から町長、議員、各分野で活躍する町民が出席し、県からは知事と関係職員が出席して、活発な意見交換が行われました。

次にその内容を紹介します。

小野克弘さん

「鳥海山観光へのアクセスルートとなる県道仁賀保矢島館合線の整備を。」

知事

「鳥海山については非常に興味を持っていて。地方部長を含めいろいろ模索している。」

由利建設事務所長

「現在東由利矢島間の未改良区間約五・五km。途中道路幅が二mぐらいの区間などもあり整備が進まない状況。」

知事

「地元の要望を考慮し、地方部と協議しながら計画を進めたい。鳥海山観光に関連して、県では現在副知事を先頭にして誘客と観光振興をねらい『ウェルカム秋田』を進めている。これは今後雇用の拡大にも繋がると見込んでいる。県の二十一世紀計画の重点項目にし、プロジェクトチームを発足した。県民の様々なアイデアを電話やFAX、Eメールなどで届けて欲しい。」

小松賢さん

「仁賀保矢島館合線は、古くから海岸南部と内陸部とを結ぶ重要路線であり最短路線であった。ぜひ早期改良完成をお願いしたい。」

大沼武且さん

「由利本荘観光フォーラムで観光マップ原案を作ったが、道路が

懇談会出席者

出席者	
町	阿部 幸悦 (町長)
	遠藤 忠平 (議会議員)
	小松 義嗣 (議会副議長)
	佐藤 十内 (議会総務教育民生常任委員長)
	小松 賢 (議会産業建設常任委員長)
	佐々木 長円 (議会運営委員長)
	鈴木 和夫 (議会広報特別委員長)
	大沼 武且 (商工会会長)
	阿部 タツ子 (婦人会会長)
	小松 耕之助 (老人クラブ会長)
	畑山 吉基 (東由利町認定農業者協議会会長)
	小野 克弘 (東由利をおもしろくする会会長)
	金子 拓雄 (指導農業者)
	小野 明子 (女性農業者)
	小松 良子 (JA秋田しんせい事業ヘルパー)
県	寺田 典城 (知事)
	米田 浩 (企画振興部長)
	小林 哲男 (参事)
	加藤 慎一郎 (総合政策課政策監)
	篠田 侃 (総務部総務課考査員)
	佐々木 松彦 (秘書課政策監)
	伊藤 次男 (由利地方部長)
	海藤 松太郎 (副部長)
	廣田 茂 (本荘由利健康福祉センター所長)
	工藤 鈴治 (副所長)
	佐藤 良悦 (由利総合農林事務所長)
	佐藤 康彦 (由利建設事務所長)
	芳賀 龍平 (中央教育事務所由利出張所長)

未整備のため発行できない。大型バスが通れる道路にして欲しい。県の観光地として田沢湖、角館、十和田湖、男鹿ばかりでなく、鳥海エリアの観光資源発掘にも取り組んで欲しい。」

知事

「鳥海観光は大きな課題であり、市町村との連携も重要である。団体旅行から個人旅行の時代になってきており、グリーンツーリズムにマッチした整備を検討していく。また情報化時代に対応した情報発信と、交流基盤の整備にも力を入れていきたい。」

大沼さん

「観光により流入人口が増える、それにより本物志向のお客さんに対応した土産品も含めた観光開発が必要となる。」

知事

「観光も特産品も秋田をまるごと売るという構想の『ウェルカム秋田』を推進する。」

地方部長

「県外市町を含めた観光ルート

を検討している。地域の連携が今後は大事。」

畑山吉基さん

「上級認定農業者制度的なものの導入を考えてみてはどうか。規模拡大の際の融資等を含めた支援策を。土地を守るのではなく、生産活動で成り立つ農業が生き残りに繋がる。またこういう直接的な話し合いの場を、もっとこまめに開催して欲しい。」

知事

「六十九市町村を訪問するのは、実際にかかりの時間を要する。農村はふるさとづくりとして振興していかなければならない。秋田県の農業の基幹となる認定農家へ新たな支援策を検討している。」

小野明子さん

「農家収入の厳しい現実、後継者に農業を勧めるのに不安がある。」

知事

「県も強く認識している。米価下落や病虫害による被害など、大規模水田農家は大変である。国と

知事のあいさつ

「懇談会は県民からきたもの、意見をいただき、県政に反映させる目的で行っています。」

二十一世紀の大きな課題として食料の自給率問題があげられます。北海道が自給率一七〇％、秋田は一六〇％などという数字が出ていますが、全体で四割を切っている現状は二十一世紀に向けて大きな問題としてとらえなければなりません。

農業においては畜産や米、花卉、野菜などバランスが大事であり、むしろ秋田県は二十一世紀に誇らしく生きられると思っています。そんなことも含めて『あきた二十一世紀総合計画』を作成しました。

ものが豊かだった二十世紀。それは環境悪化を招きました。これは今見直し、



コントロールしなければなりません。

長寿化社会に生きる高齢者がいかに楽しく生きるか。それは年金や介護、福祉の問題です。また、人間が自分の時間を大切にするため、労働時間短縮の問題など、行政だけでかなえられる問題ではないという認識を含めた一八六項目の目標などをたてさせていただきました。

『時と豊かに暮らす』というテーマは日本でも初めてですが、単発のハード整備にとどまらず、環境や生活そのものを含めたレベルアップが必要な時代。これからの社会は、人間が快適に生きるために経済が発展するようになるでしょう。

また国際化社会を迎え、世界的な視野も必要となります。日本だけでは生きていきません。少子化の問題。一人の社会人である女性が、子どもを産むという負担を社会がカバーできる、男女共同参画社会のシステムづくりなど。様々な問題について皆さんと勉強に参りました。」

も折衝しながら問題に取り組んでいる。」

金子拓雄さん

「現在農家が弱っている。農家に収入が入るしくみを考えて欲しい。直接払いと転作確立助成の制度をさらに進めて欲しい。」

総合農林事務所長

「直接支払制度については、去年の暮れごろからは傾斜地に応じて支払う方法を探っている。農地を守るために農業生産活動を続けていることを、納税者の皆さんにも理解してもらうことが大切。」

知事

「県でも米価を含めた現状について深刻な問題として取り組んでいる。財政的な限界もあるが、前向きに検討する。」

小野克弘さん

「無農薬有機米の認定機関を秋田県で作れないか。兼業農家には大規模農家にできないことがやれる部分がある。兼業農家に支援の施策を。循環型の農業を目指し、堆肥銀行を作れないか。」



総合農林事務所長

「無農薬の基準が厳しくなっており、現在は減農薬米という名称

で販売され、由利管内からも七〇〇トンほど出荷して好評を得ている。東北では岩手県が認証団体を設置しており、秋田県でも独自に農業公社に設置する検討をしている。堆肥の問題については、当管内においては供給余力があり、広域的な対応を考えていきたい。」

小松良子さん

「今も残る『あきた21総合計画』のイメージイラストの風景を大事にし、秋田県全体が大きな自然公園と言えるような環境づくりを。若年層の犯罪が増える中、子供たちのために大人が変われる中高年の教育を。」



連して高齢者社会活動推進員の設置が廃止との方向が打ち出された。郡関係事業の主な事務局としての中心的な役割を担っていたこの推進員を従来通り設置してもらえないか。」

福祉事務所長

「地域間交流等老人クラブの活動が定着し、社会活動的な支援が必要でなくなったため廃止の方向となった。また今後は県老人クラブ連合会が広域的な活動を支援する活動となる見通しである。」

佐々木長円さん

「IT革命が進む中、公衆デジタル通信回線や携帯電話の使用不可地域などがまだ残っています。」

知事

「早急に整備をしたい。大きな事業費になるが、地域と連携しながら実現を目指す。」

町長

「通信事業者においては高利益地域を優先するため、なかなか基盤整備が進まない。」

企画振興部長

「運営も含めたシステム全体のコストが発生するため優先順位がある。官公庁のある場所に続き観光地を整備しつつある。」

知事

「皆さんからの要望・意見等は把握したと思っています。持ち帰ってこれからの政策に反映させたいと思います。」



秋まつり 2000

と き：10月28日(土)～29日(日)
会 場：町民体育館 他

羽後町出身 (キングレコード)

岩本公水 オンステージ

28日より7時開演

会場：東由利中学校体育館

(第1部)

東由利 のど自慢大会

28日より6時開会

(入場無料)



【主なプログラム】(予定)

※詳細は後日お知らせします

10/28 (土)

- 東由利のど自慢大会 18:00～19:00
- 岩本公水オンステージ 19:00～21:00

10/29 (日)

- こども祭り 9:30～14:30
- 東由利音楽祭 13:30～16:00



来る!

29日 10:00・15:00



©2000 石森プロ・テレビ朝日・ASATSU D.K.・東映

ちびっこ大集合

元気にすくすく
育ってま〜す

〜1歳6ヶ月児

健診から〜



小松 千尋ちゃん
石高 (嘉明さん)



菊地 那奈ちゃん
大吹川 (晃さん)



畠山 礼くん
寺田 (俊明さん)



荘野 凌汰くん
下小路 (康成さん)



佐々木雪乃ちゃん
新町 (明さん)



小松 音仁くん
畑村 (英之さん)



畠山 幸子ちゃん
上通 (繁光さん)



高橋由香里ちゃん
新町 (和美さん)



阿曾 剛仁くん
宇戸坂 (惣一さん)



畠山 誠文くん
大吹川 (誠さん)

むし歯のなかった子には
マークがついて
います

町長日記

九月二十日に八塩いこいの森を会場に町陶芸サークル燐幻会が主管する第二十四回全県野焼きの会が開催されました。「全県」のタイトルがつきますから以前は県内各地持ち回りの会場であったことですが、ここ何回かは本町で開催され、今や八塩いこいの森会場が定番化されたようです。

八塩いこいの森は会場としての条件がよいとのこと。野焼きは約二時間ほどかかりますがこの燃料に青草を使います。それもその前日に刈ったのが一番よいということですが、八塩いこいの森ではそうした面の条件が整っているということです。

大量の野草を一度に確保するということは今の時代なかなか大変なこと、よそでは難しいことではありますが、我が町では草を刈る場所の確保も、それを刈り取る作業員の協力も容易にできます。

そしてまた大量の野草を焼くことですから広場も狭くてはできないでしょうし、燃やすということより燃すという感じがですから大量の煙も発生します。とても人家の近くでは出来ないことであります。八塩いこいの森の会場設定はこうしたもろもろの条件にぴったりということでもあります。

しかし、いくら会場の条件がよいとしてもそれを活かす企画実践する人達がいって、始めてより大きな成果に結び付くことであります。条件を活かす人達こそ陶芸サークル燐幻会の皆さんであります。特にそのリーダーであります小松幸子会長ご夫妻のご活躍があつて、このいこいの森の条件がぴったり活かされていることとであります。

今回も全県から集まった会員の素晴らしい作品に混じって八塩小学校の子供達の作品がありました。今年は全校児童がこの焼き物作りに取り組んだということです。朝の点火式からわくわくしながら世界に一つしかない自分の作品の出来あがりを楽しみにしておりました。この子供達の作品ひとつひとつも製作過程で丁寧な小松会長ご夫妻の目配りがあつて、できあがつたとお聞きしました。

この日は九月定例議会の会期中で、遠藤議長さん始め各議員も子供達の作品に興味深そうに見入っており、それぞれの作品が満足できる出来栄に焼き上がりますよう皆さんで祈念したことでした。

引き続き午後からはナラの木立を会場に、流域四町の公民館が主催する第一回子吉川流域公開講座が開催されました。我が町の縄文晩期の遺跡、湯出野遺跡の発掘の責任者でありました大野憲司先生が講師を勤められました。縄目文様の野焼きの作品を見学してから引き続きということでもあり大変楽しい講座でありました。会場のイスは昨年の植樹祭で用いた杉板で、第五十回秋田県植樹祭と焼印がしっかりと入っていました。よい使い方がされています。

この日はしっかり縄文文化に浸りました。野焼きを指導されておりました大曲市の大塚先生や大野先生にも感謝を申し上げたところです。それぞれの会員の皆さんにも「ご苦労様」と申し上げながら、改めて八塩いこいの森の存在価値を思った一日でした。

芸術そして収穫の秋

秋の公民館事業ピックアップ2

芸術そして収穫の秋です。今回は公民館活動の中から秋の行事二つをピックアップして紹介します。

野焼き作品に百七十人が笑み

一つ目は今年二十四回目を数えた「全県野焼きを楽しむ集い」。

九月二十日好天に

恵まれた八塩いこいの森を会場に、全県各地から陶芸愛好者など百七十余名が集いました。

開会式後、町の「陶芸サークル耀幻会」小松幸子会長のかけ声と同時に点火、白い煙が天高く舞い上がると、参加者たちから大きな歓声が沸き起こりました。

この日は残暑が厳しく、日当たりの良いところでは汗ばむほどの暑さで、焼き上がりも例年より一時間以上も早く二時間半ほどの短時間で完成しました。

出来上がった作品は世界にたった一つという貴重なもの。まずまずの作品の出来映えにどの顔にも笑みが見られ「家族や友人に自慢したい」「とても楽しかった」「来年も必ず参加する」などの感想を、取材に訪れたテレビ・新聞の報道関係者に話していました。



▲収穫した300キロのサツマイモを囲んで

サツマイモの収穫に保育園児が応援

ことぶき大学生が栽培・管理していたサツマイモ畑（跡見坂）で、九月二十二日収穫作業が行われました。

作業には永慶・みどり両保育園から園児四十余人が応援に駆けつけ、お年寄りたちと一緒に汗を流しました。

この日収穫されたサツマイモは全部で三百キロ余りで、手伝ってくれた園児らにはお礼として一本ずつがプレゼントされたほか、残りは同大学の料理教室などに活用することになっています。

畑では他にベイナスなどの野菜の収穫がまだ続いています。



▲八塩いこいの森の林間で開催した子吉川流域公開講座

子吉川流域公開講座 八塩いこいの森に 聴講者一〇〇人

子吉川流域四町（由利、矢島、鳥海、東由利）が会場の「子吉川流域公開講座」が、九月二十日からスタート。第一回目は本町八塩いこいの森に開設し、四町から百名余りが受講しました。今回は二年前に同講座が開設されて以来初めて野外で開催、好天と自然環境に恵まれた好条件下の開催に皆感激していました。

講師は県文化財保護室副主幹で、本町湯出野遺跡の発掘を担当した大野憲司氏。大野氏は「宝さがしの楽し

み」と題し、先住民から学ぶことの大切さや遺跡発掘の面白さなどを力説しました。

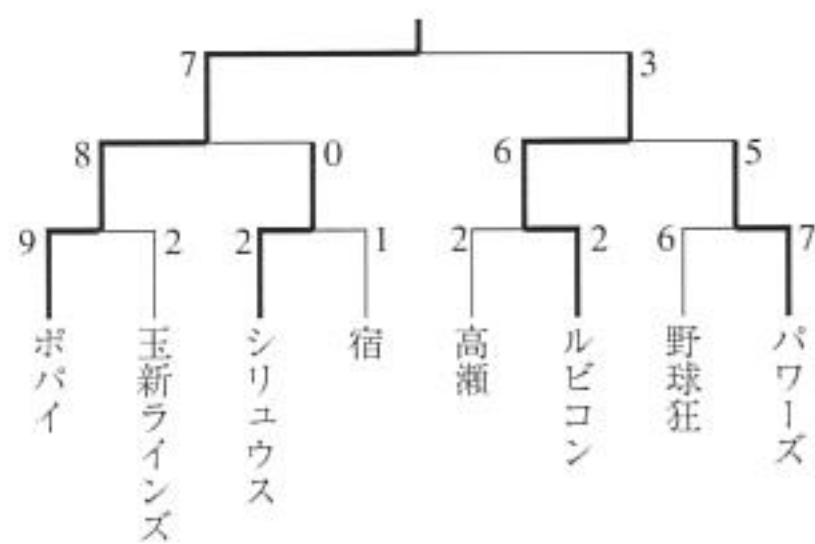
次回会場は矢島町 参加者募集中

子吉川流域公開講座は県教育委員会が主催し、本町を含む実行委員会が企画・運営しています。第二回目以降の計画は次の通りです。ので多数の参加をお願いします。各会場へはバスを準備します。

受講申込み又は詳しいことは公民館にお問い合わせ下さい。

10月11日(水) 13:30~15:50	矢島町 日新館	歴史遺産の継承 講演会 演題「木境大物忌神社 虫除け祭り」(仮題)	講師: 日本環太平洋学会 理事 齋藤壽胤氏
11月8日(水) 9:30~11:20	鳥海町 紫水館	ふるさとを支える水と文化 講演会「地域を支える 鳥海ダム」 実演「本海番楽」	講師: 建設省東北地方建設局 鳥海ダム調査事務所 所長 遠藤真一氏 上戸宅番楽保存会
11月27日(月) 13:20~16:40	由利町 善隣館	自然との共生 講演会「自然との共生」(仮題) 実演「篠笛・オカリナ演奏」 講座閉講式	講師: 登山家 藤原優太郎氏 日本郷土芸能研究保存会 総合師範 鳴海昭人氏

ポパイが今季三連覇



町社会人野球大会のベスト8チームが参加して行われる秋季選抜大会が9月4日から19日まで開催。選抜チームとあって各試合とも好プレーが続出。毎試合大量得点で勝ち進んだポパイスポーツクラブ（長沼利文監督）が、決勝戦でルビコンを7対3で下し春季、夏季、秋季を連続して制覇しました。

白瀬記念館など見学



▲ひばり荘にて記念撮影のひとコマ

ことぶき大学移動研修を9月5、14、18日の3日間三班に分けて開催。研修地は白瀬南極探検記念館（金浦町）、ひばり荘（仁賀保町）、由利原高原（由利町）で、計118人が参加しました。白瀬記念館ではオーロラドームで映像を鑑賞、ひばり荘の展望台からは鳥海山と日本海の美しい景色を望みました。

ベスト3は大琴、湯出野、袖山



▲優勝に輝いた大琴チーム

町スポーツ行事のビックイベントであるゲートボール大会を8月27日町民グラウンドで開催。今年は昨年より4チーム少ない48チームが参加。4チームずつ13コートでの白熱したリーグ戦の結果13チームが決勝トーナメントに進出、激戦の末大琴が優勝、湯出野が準優勝、袖山が3位に輝きました。

9月 公民館行事ニュース

わらび座本町で上演

わらび座創立五十周年記念作品「歌舞集・21飛翔」が本町で上演されます。

町文化講演会に代え開催するもので、期日は十一月二十三日（勤労感謝の日）、会場は町民体育館です。詳細については後日チラシ等でお知らせします。

わらび座が本町で上演されるのは二十数年ぶり。本格的な芸能に触れる機会であり、町民多数の鑑賞を期待します。

29日に「音楽祭」

町の偉大なる音楽家小松耕輔を偲んだ第八回東由利音楽祭を、十月二十九日（日）東由利中学校体育館で



童話を読んで、夢と感動をお寄せ下さい

第9回高橋宏幸賞 童話秋田県コンクール 作品募集中！

《応募方法》

童話を読んで感想文（小学生）又は感想画（幼児・小学生）を書いて下さい。応募用紙は町教育委員会にあります。

《締切》

平成12年11月17日（金）

《表彰》

感想文、感想画の幼児・小学生ごとに賞状・賞品を差し上げます。

《問い合わせ先》

教育文化課 69-2311

町内保育園・小学校へは別途連絡します。

グランドゴルフを 9日いいの森で

町スポーツ祭の第三弾、グランドゴルフ・ペタンクを十月九日（体育の日）八塩いいの森センターハウス周辺で開催します。

参加は事前に申込みのあった十二自治会百六十二人で、秋空の下でにぎやかな競技が繰り広げられそうです。



▲11年度の海外研修からオーストラリアシドニーにて

す。都合のつく方はぜひ観戦にお出で下さい。

四町村合同海外研修 まだ参加枠あります

大内、南外、千畑、東由利四町村合同による町民海外研修を十一月十六日から七日間行います。今年度はオリピックで盛り上がったオーストラリア（シドニー、アデレード）で福祉事情について研修します。

町海外研修は本年度限りで終了する予定です。この機会を逃さずぜひ参加してはいかがでしょうか。

トピックス

自治会と町長が町づくりについて語る

新町自治会フォーラム

九月十九日夜、新町会館において新町自治会主催によるフォーラムが行われました。

フォーラムには町から町長及び職員が出席し、地域の問題や町づくりに関する問題などについて、意見交換を行いました。

フォーラムで話し合われた主な内容は次のとおりです。

■大琴小学校と高瀬小学校の統合について
本年度大琴小学校の児童数三十九名。四十名を切ったら統合という指標を示してきており、現在十四年度統合の方向で検討を進めている。

■役場庁舎建設地について
ハード事業についてはひととおり整備を終え、古くなった役場庁舎が残った課題。施設は特に電源供給量が不足し時代にそわなくなった。積立金は現在六

億円となり、おおむね十億円の建設事業費の検討している。内部検討や老方地区の陳情、議会の意見などを集約し、現在二カ所の候補地となっている。今後みなさんの意見を聞きながら進めたい。

■介護保険料について
※町内に全戸配布した資料により町職員が説明した

■市町村合併について

総論としては賛成。具体的な個々の問題を考えると難しい。比較的繋がり深い仁賀保、象潟、金浦三町を例にとってみても、広域的な事業など三町でやっていない現状。現実には厳しいようである。国、県とも合併の方向を示しているので、備える必要であり議論をしていく。



▲会場では熱心な意見交換が行われた

アイドルをさがせ!

佐藤 風香ちゃん(松柴)
(1歳)

お父さん：義宏さん
お母さん：純子さん

お話し：純子さん



名前の由来は「お父さんが考えましたが、特に理由はありません。占いで幸運に恵まれる画数とのことで気に入っています」
好きな食べ物「くだものはなんでも好きです。特に嫌いな食べ物がなく、ご飯もおやつもきれいに食べます」
最近のエピソード「最近少しづつ歩き始めました。手押し車が大好きで、つかまって押しながら歩くのが気に入っています。言葉も『ブー』『マンマ』など覚え始めました。また電話に興味があるようで、よく大人のまねをしていましたので、おもちゃの電話を買ってあげました。とても気に入っています」
将来はどんな人に「飛び抜けた目立ったりしなくてもいいので、普通に元気に優しい人に育って欲しいです」

元気に歩いてなべっこを楽しむ

老方分館

九月十七日、老方分館恒例行事の「歩こう会」が今年も行われました。

当日は朝九時に老方館前に集合し、テレビ塔を目指して五十人が元気に歩きました。

道中ときおり小雨がぱらつき、天気が心配され早めの出発となりましたが、無事に全員頂上に着くと、なべっこ焼き鳥など昼食のごちそうに舌鼓。登山の疲れを忘れ、眼下に老方の町を眺めながら、秋のひとときを楽しんでいました。



▲山頂で参加者全員元気に記念撮影(写真：老方分館)

YG ヤング・ジェネレーション



田代 小松 郁 美さん (18)
キャメルマート勤務

食べることに、寝ることに、マンガが大好きで、休日はおいしいものを食べに出かけるのが楽しみとのこと。初めてもらった給料も、早速彼とおいしいものを食べに出かけたそうです。自分のことはめんどくさがりやと話しますが、レジでのお客さんに応対する姿はテキパキとして、さすがにもうしっかり社会人の雰囲気。今の夢は県外の温泉にゆっくりと行きたいと語る、ちょっと食いしん坊な(?) グルメの郁美さんでした。



▲チャリティー寄付を町長に手渡す石渡さん

故郷東由利で福祉チャリティー

蔵出身・石渡鉄信さん

本町蔵出身で、現在北上市で呉服販売業を営んでいる石渡鉄信さんが、九月十一日・十二日の二日間、黄桜温泉「湯楽里」で福祉チャリティー帰郷展(きもの総合展示会)を開催しました。

二十世紀節目の年に故郷東由利で初めてのれんをお披露目できたことを嬉しく思い、町の福祉に役立てて欲しいと語り、金一封が町長に手渡されました。

本荘市由利郡小学校水泳交流会入賞者

種目	成績	入賞者等
男子		
100M自由形	5年 1位	阿部 昌之 高瀬
50M背泳ぎ	5年 2位	伊東 圭介 高瀬
	4位	長沼 将馬 高瀬
50M自由形	4年 4位	遠藤 壮登 高瀬
	5年 3位	阿部 昌之 高瀬
	4位	伊東 圭介 高瀬
	6年 4位	木島 和也 高瀬
50M平泳ぎ	4年 5位	遠藤 壮登 高瀬
	5年 5位	阿部 大輝 高瀬
50Mバタフライ	6年 5位	木島 和也 高瀬
	4年 6位	長沼 史賀 高瀬
女子		
50M背泳ぎ	6年 6位	佐藤 泉 八塩
団体	200M自由形リレー	男子 2位 高瀬小学校
	200Mメドレーリレー	男子 6位 高瀬小学校

競泳一〇〇M自由形で高瀬小阿部君が一位

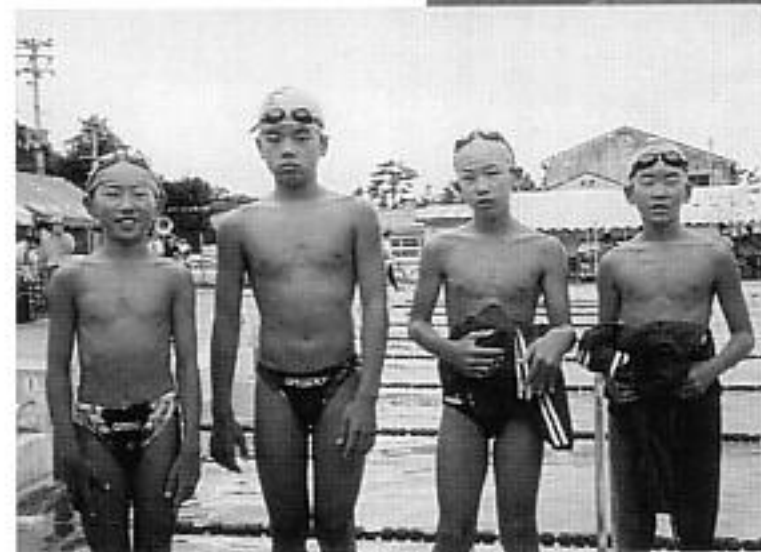
本荘市由利郡小学生水泳交流会

八月二十六日、

本荘市民プールにおいて第五回本荘市由利郡小学生水泳交流会が行われました。

本荘由利の小学校が二十三校が参加して行われたこの大会には、町内三つの小学校からも選手が出場し、次のような成績を収めました。

一〇〇M自由形で第一位になった阿部昌之くん



鳥海町から

第23回 紅葉まつり

10月15日(日)～22日(日)
10:30～15:00 法体園地
初日と最終日にイベント
郷土芸能、抽選会、歌謡ショー、カラオケ大会など
鳥海町観光協会 ☎57-2069

第1回 鳥海山ハーフマラソン大会

10月9日(月) 8:30受付 10:00スタート
フォレスト鳥海～亀森～沢渡向～オノ神～フォレスト鳥海
世界を2度制したマラソンランナー「藤村信子」さんと走ろう
参加料 学生1,000円、一般2,000円
鳥海山ハーフマラソン大会実行委員会(鳥海町総務課内)
☎57-2201

岩城町から

あまさぎワインまつり

10月8日(日) 正午開演 高城城址公園
・プラムうどん二人羽織早食い大会
・ミス天鷲とじゃんけん大会
・お楽しみ大抽選会 ・フリーマーケット
入場料 前売1,800円、当日2,300円
(有)天鷲ワイン ☎74-2100

矢島町から

花立秋まつり

10月8日(日) 10:00～15:00
鳥海高原花立牧場
魚釣り大会、パークゴルフ大会、
ゴーカートタイムレース、ラグビーキックボール
矢島町企画商工観光課 ☎55-4952

文化講演会

10月14日(土) 13:30～ 日新館
「私と相撲」 講師 舞の海
矢島町福祉保健課 ☎55-4960

西目町から

嶋田隆絵画展

10月18日(水)～24日(火)
西目町町民センター「シーガル」 入場無料
西目町町民センター「シーガル」 ☎33-2315

西目町文化講演会

10月6日(金) 18:30～
西目町町民センター「シーガル」
「ふるさとを詩うー方言をキャンパスにー西目編ー」
講師 洋画家 五島まさを氏
入場料500円
西目町町民センター「シーガル」 ☎33-2315

おとなり情報

～本荘由利の催物などを紹介します～

本荘市から

本荘市市民講演会

10月18日(水) 18:30会場 本荘文化会館
講師 脚本家 ジェームス三木
講演「人生はドラマ」 参加無料
本荘中央公民館 ☎22-0900

本荘由利美術展並びに公募展

10月6日(金)～10日(火) 9:00～17:00
本荘市勤労青少年ホーム 本荘文化会館地階
絵画、工芸、写真、書道、彫刻
本荘市教育委員会社会教育課 ☎24-3329

象潟町から

川袋川サケまつり

10月15日(日) 10:00開会
川袋構造改善センター前特設会場
サケのつかみどり、試食、即売会
川袋サケ漁業生産組合 ☎46-2634

第7回きさかた全県少年少女俳句大会

10月21日(土) 13:00～16:30
象潟町公民館大ホール
参加自由、無料
象潟町郷土資料館 ☎43-2005

由利町から

秋の惑星観察会

10月28日(土) 19:00～21:00
南由利原青少年旅行村コスモワールド周辺
太陽系惑星等の観察会
大型望遠鏡、貸出望遠鏡は有料
コスモワールド ☎53-2008

仁賀保町から

小中学生の移動科学教室

10月14日(土) 8:00～17:00
能代火力発電所・エナジウムパーク
対象 小学校3年生～中学生、保護者、先生
参加無料、昼食各自持参
フェライト子ども科学館 ☎32-3150

大内町から

第44回 大内町民祭

10月28日(土)・29日(日) 8:30～
大内町農村環境改善センター、町民体育館
元祖とろろめし大喰い大会、文化講演会など
大内町公民館 ☎65-2210



10月から保険料の 納付がはじまります

保険料の支払方法には、**特別徴収**と**普通徴収**があります。

特別徴収

10月13日に支払われる年金から天引きがはじまります。

普通徴収

10月5日に納付書が送付されますので、最寄りの金融機関等で支払うことになります。

★10月以降に65歳を迎えられる方は、年金（老齢・退職年金）が年額18万円以上でも普通徴収となり、送付された納付書で納めることになります。

詳しい保険料の額については、9月下旬に送付された納入通知書（介護保険料額決定通知書）をご確認下さい。

問合せ 福祉課福祉係
(☎69-2118)

本荘由利広域市町村圏組合職員を募集します

■採用予定人員及び職種内容

・一般行政職（清掃センター） 初級 一名
・老人ホーム看護婦・看護士 一名

■試験の方法

第一次試験 一般教養試験

第二次試験 作文及び適性検査、口述試験

■試験日及び場所

第一次試験 平成十二年十一月十二日（日） 広域行政センター

■受験資格

・一般行政職（清掃センター） 初級

昭和五十年四月二日から昭和五十八年四月一日までに生まれた人で、大学、短大、高専を卒業又は卒業見込みの人を除く。

・老人ホーム看護婦・看護士

昭和四十八年四月二日以降に生まれた人で、看護婦・士、准看護婦・士の免許を有する人又は平成十三年三月三十一日まで免許取得の予定の人。

■受験申込書の請求・受付

平成十二年十月二日（月）から十月三十一日（火）まで本荘由利広域市町村圏組合事務局総務課より受領し、提出してください。

■受付と問合せ先

〒〇一五〇〇〇一

本荘市出戸町字尾崎一七番地 広域行政センター内

本荘由利広域市町村圏組合事務局総務課（電話 231-2019）

県立学校職員を募集します

【県立学校現業職員（技師）】

県立高校や県立特殊学校に勤務し、主に学校の環境整備等及び寄宿舎等の調理の業務に従事します。

●応募資格

技師（校務担当）

昭和三十六年四月二日以降に生まれた者

技師（調理担当）

昭和三十六年四月二日以降に生まれた者で、調理師の免許を取得している者

●応募期限

九月二十九日（金）

●選考試験

平成十二年十月八日（日）
秋田市「千秋会館」

●問合せ先

県教育庁高校教育課（☎0181-86015161）

ヘルシークッキング Vol.5

よりよき生活習慣で病気を予防する



「鮭のマリネ」（4人前）

《材料》（大・・・大さじ、小・・・小さじ）

生鮭240g、清酒小1杯半、塩少々、キュウリ40g、タマネギ120g、ニンジン20g、レモン20g、サラダ油小5杯、塩少々、こしょう適量

《作り方》

鮭に塩をふりかけ、皿にならべ酒を入れ蒸し器で蒸す。キュウリ、タマネギ、ニンジンはせん切りにし、サラダ油、塩、こしょうにつけて、蒸した鮭の上にかけて、レモンを添える。

《アドバイス》

減塩し、野菜を多くとることがガン予防への早道です。また若い人などは魚離れになりがちです。いつもの魚にちよつと手を加えたり、いろどりを工夫したりして、ときにはこんなメニューはいかがですか？

（小松保健婦）

続・畜魂

～つれづれの記

第16話「野生動物」

鈴木龍太郎・文

出羽丘陵に抱かれる東由利では、野生動物と出会ったり、狸の話や古関三郎氏（松柴）、武田秀夫氏（須郷）、武田敏男氏（故人）などから聞くこともあった。

■飛べない鳶

十年くらい前の話。役場に出勤すると、建設課の伊東春美さん（現湯楽里勤務）に、「お父さんが『飛べなくて可哀相だ』と連れてきたが、どうしたらいいか判らなくて」と、段ボール箱に入れた鳶を見せられた。翼は折れていないが、私ではどうしようもなく、林業係に相談し鳥獣保護センター（五城目町）へ搬送した。

暫くして、センターから伊東さんに保護のお札に添えて「鳶は元氣になって大空へ飛んでいった」と知らせがあり、三人は手を取り合えないで（伊東さんに遠慮して）喜んだ。

■野兎（ノウサギ）

雪がやんだ大寒の夜、大吹川から石高への坂道でカーブした途端、兎がいた。雪道に滑りながら車を停めたが、ライトに目がくらんだのか逃げない。減燈した光と雪明かりで真っ白な姿を見ていたら、「兎、サビグネガ（寒くないか）」と声をかけなくなった。兎は間もなく雪の斜面を駆け上り、林に消えた。

その冬も過ぎ、黄桜も散り果てた六月の夕暮れ、同じ場所でも茶褐色の若々しい兎が、道路から跳びはねて斜面の草むらに入るところを見た。あの兎の子供だろうか…。

■狸

ある晩春の夜、大台集落の上を通る峠道で、行く手にピカピカと、小さな数個の光が動くのに驚き急停車した。それは狸の親子の目が光ったのであった。

母狸は草むらに逃げる体勢でいるのだから、ものおしせず道真ん中に居る四匹の子狸の格好がまことに可愛かった。母親に促されて茂みに入るときにこちらを振り返った最後

尾の子狸の姿も目に残っている。

冬は寝床になる糶穀と美味な飼料のある牛舎に棲み、春になると出てゆくチャッカリ狸もいる。

熟したスイカやトウモロコシを、沢山狸にやアナグマに盗み食いされることもある。そんなとき畑の主は「またやられた」と悔しがる一方で、「アレタチ（彼ら）も生きてエガネバナ（ゆかなければな）」と、少しは容認している様子。そんな言葉に、自然の中に生きる人々のおおらかさと、動物にかける愛情を感じる。

イタチにはあちこちの道で横切られた。綺麗な黄金色のテンは八塩ダムの入り口で見た。狐は沢山いるそうだが遇ったことはない。多分利口な狐は「鈴木を化かすのは簡単だが、取るものが何にもない」と、私の懐具合を見破って近づいて来ないからだろう。

ところで、自然が変わってきているようである。小松順之助先生は、著書『漁の四季』の中で、「高瀬川の状態も変わって、川釣りの楽しみがなくなってきた」と嘆いておられる。いつまでも東由利の山野には、野生動物が走り（人との共存問題はあるが）、野草が咲き乱れ、川は魚影の濃い清流であって欲しい。そんなふうに願ってやまない。

季節を詠む

（せせらぎ句会）

十二湖の水面離れし秋の雲	高戸屋 小松 敏雄
潮の香や露けし旅の髪を梳く	横渡 高橋 ヒデ子
湖々の面に粧い始む山の影	久保 高橋 典三
岬田の低く列なす稲架襖	五海保 嶽 石レイ
不愛想なイトウの貌や秋の声	蔵新田 小笠原 トミ
昼餉とく館に送る秋つばめ	蔵 阿部 澄子
舟を揚げハタハタの港秋寂びぬ	舟打場 高橋 民治郎
雲ひくし言いわけのごとイカ襖	横小路 小松 丈介
秋の声すれど客なき湖畔茶屋	山崎 小松 良子
雑木紅葉ぬけて十二湖藍深し	舟木 大庭 喜右衛門
十二湖の紺に憩へりタラの花	横小路 宮 野 源二郎
水澄めりイトウ静かや十二湖に	蔵新田 小野 貞子
岬田は沖の高さに稲架組みぬ	家ノ下 小松 正昭
舳い船父子の会話か秋澄めり	上里 小野 石路子
虫啼いて岬に荒れし減反田	下小路 小松 メサ
九十九折登れば十二湖杉ぶすま	小倉 遠藤 トミ子
宵の口馬草に集くちちる虫	蔵新田 小笠原 亮子

林業交流会

去る八月二十三日、当町において、西目町林業研究会と東由利町林業懇話会との交流会を行いました。会議には両町会員、町、森林組合の職員など三十四名が出席しました。

交流会のねらいは、スギ人工林の間伐や枝打ち、作業道整備などの学習、そして森林の公益的機能（水源かん養、土砂流出防止、大気浄化）や保健休養機能（森林浴、キャンプ、ハイキングなど）人々への安らぎ効果について森林見学をとおして体験し、森林資源保護育成の重要性認識を深めることにありました。

当日は、石綿國雄氏と畑山作三郎氏所有のスギ林や町有六郎沢学習展示林（九十年以上のスギ）、八塩山町有林、分収林、ボツメキ水源池、八塩いこいの森を見学しました。

そのあとの懇談会の席上で、西目町の皆さんから、スギの保育管理の勉強になったこと、冷たく美味しかったボツメキ自然水と広大な八塩の森の自然、そして自然に調和した施設が大変素晴らしいことなどに、感謝と感嘆の言葉をいただきました。

交流会の終わりに参加者一同で、緑を育て守り後世に残すことを誓い合いました。

（町林業懇話会会長
佐藤 恒悦氏）

東由利・成立

区分	頭数	平均体重	平均価格	kg当単価
去勢	20	295kg	451,815円	1,465円
雌	11	276kg	337,527円	1,166円
全体	31	288kg	411,261円	1,325円

最高価格

	金額	父	母の父	母の祖父
去勢	611,100円	美津福	北国7の8	栃 錦
雌	417,900円	福 栄	北国7の8	益 美

九月家畜市場

木材共販市況

（平成十二年九月・平均価格）
四五年生～五五年生

径 級	単 価（石）	備 考
直材30cm以上		
24～28cm	4,300	
14～22cm	4,200～4,300	
13cm以下		
曲 り 材		

9/1 14～22cmはガニ腐れを除き完売。24cm上の中目材もまずまずだが、曲材や尺上材は引き合いがない。
9/18 14～22cmは完売。単価は弱含み横バイ。売れ筋は14～28cmにはっきりと限定された感がある。

ふるごと
むかしむかし

四〇

重箱の中のぼた餅

むかしむかし、あるところに何でも一人じめしたい姑婆さまが、若い嫁さんと住んでおりました。

ある日婆さまは、隣の家からぼた餅をたくさんもらい、一人で食べていました。とても一人では食べきれませんが、婆さまは、残ったぼた餅を嫁さんに食べさせたくありません。大事に重箱に入

「こら、ぼた餅やぼた餅や、嫁さんが重箱あけたらビッキ（蛙）になあれ、ビッキになあれ。」と唱えるように言って、重箱をそっとたすの中にしまうのでした。

ところが嫁さんが、隣の部屋でこのことをみんな聞いていました。そんなことはいっこうに知らない婆さまは、

「嫁コや、隣の村にちよっくら用をたしに行って来るからな。」と言いついて出て行きました。

婆さまが出ていったあと、嫁さんは早速たすの中をぼた餅を出すと、

「こんなうまいぼた餅は、めったにない」

と言いついて、おいしそうに全部食べてしまいました。

食べ終わると嫁さんは、ぼた餅の数だけ田んぼからビッキを捕まえてきて、空になった重箱に入れておいたのです。

隣村から帰ってきた婆さまは、なが歩きしたせいか腹も減った。「さて、またあのおいしいぼた餅を食べようか。」

「まてよお、嫁コにでも見られたら大ごとだ。」

と言いついてそとあたりを見まわし、たすの中を重箱を取り出しました。そして重箱のふたを開けてびっくり仰天。なにしろビッキがびよんびよん、びよんびよん

と飛び出してくるので、婆さまは腰を抜かさんばかり。

「こら、ぼた餅やぼた餅や、あんまりとぶなや。あんまりとぶど、小豆コ落ちる。嫁コと婆と間違えるとはなにごとだあ」

とあわてながら、部屋の中のビッキを追いついてはいたのでした。

そんなことがあつてから、姑婆さまはビッキになってしまったら大変だと、食べ物ばかりでなく、何でもひとりじめしないので、みんなで分け合うようになったということです。

（館合新田 長谷山長四郎氏（故人）の語りより再誌
（文と絵 石渡力造氏）





郷土の野草

NO.188

チカラシバ (イネ科)

文・写真 小松忠正氏

日本全土、東南アジアの道端、土手、原野等、日当たりのよい所を好んで生える多年草で、町内でもどこに行ってもある草といえはこの草をあげることができません。きわめて強靱な鬚根を地中にのびし、地上茎もそれと同様で、少しぐらいの力では引き抜くことも茎を折り取ることもできません。葉は緑色線状で先端は尖ります。八月〜九月、葉間から花穂を直立させ、長さ二〇センチ内外の先端に、黒紫色の剛毛のある小穂をびっしりと

つけます。和名は力持ちの草ということですのでこの名があります。

※先月号ウラシマソウの「苞」は「苞」の誤りでした。

戸籍の窓口

お誕生おめでとう (8月21日〜9月20日届出)

●ご結婚おめでとう

長谷山 広美さん (86) 誠明・父・下通
阿部 和江さん (89) アヤ・夫・中通

●ごめい福をお祈りいたします

長谷山 誠一さん (86) 誠明・父・下通
佐藤 要次さん (89) アヤ・夫・中通
小松 徳藏さん (88) 徳輝・父・湯出野

池部 梨理香ちゃん (千代美) 袖山
山 健人くん (明弘) 大吹川
鈴 南美ちゃん (紀子) 畑村
小 野 美伽子ちゃん (晃一) 須郷田
小 松 誠生くん (英子) 畑村
山 玲奈ちゃん (光子) 寺田

※広報への掲載を希望しない方は、届出の際にお知らせください。

読者からの投稿

投稿者 家ノ下・安倍 ヨネミさん



「お盆過ぎに畑から収穫した中に、なんだかカワイイ3つ子(?)のトマトがありました。記念にしばらく飾ってから食べました。」

お礼

広報送付謝礼として次の方より金一封をいただきました。ありがとうございました。

中村武美さん (秋田市)



ほっとひといき

◆いよいよ今年は20世紀最後の年。10年前を振り返ってみても町の様子はかなり変わりました。道路が便利になり、町民の生活施設やお客さん向けの施設もたくさんできました。住んでいる人だけの町から、日本の中の1つの町へと成長しています。21世紀には「IT革命」が地面の境界線を越えて、人と人を繋げて行くことでしょう。どんなに技術が発達しても、人が優しく幸せになることがいちばんの目標です。

10月▶データ東由利

〈8/1〜31〉

() は前月比

住民基本台帳

	月末人口	前月比
男 (人)	2,470	1
女 (人)	2,628	- 5
計 (人)	5,098	- 4
世帯数 (戸)	1,389	4

	月間異動人数	1月からの累計
出生 (人)	2	33
死亡 (人)	2	86
転入 (人)	10	72
転出 (人)	14	131

消防・交通

	月 間 発生数	1月からの 累 計
火災出動 (件)	0	3
救急出動 (件)	17	117
交通事故 (件)	0	3
死亡 (人)	0	0
傷者 (人)	0	3
飲酒運転 (件)	0	0
酒気帯び (件)	0	6

10月の行事予定

9/26〜10/8 町長海外研修 (訪欧)

- 4 (水) 予防接種 (ポリオ)
- 5 (木) 公開保育研究大会 (永慶保育園)
- 9 (月) 体育の日
- 10 (火) 予防接種 (個別・三混)
- 11 (水) 乳児健診
- 12 (木) 機能訓練教室
- 13 (金) 3歳児健診
- 17 (火) 食生活改善教室
- 18 (水) 町身体障害者協会一日研修
- 23 (月) 機能訓練教室
- 25 (水) 郡市消防幹部会 (本町)
- 28 (土) 秋まつり
- 29 (日) 町音楽祭